

令和元年度 自己評価表

松山南高等学校（全日制課程）
学校番号（21）

教育方針	国家社会の有為な形成者として、広く世界的視野に立ち、新しい文化の創造と発展に寄与する若人の育成を期する。	重点目標	志高く 心を耕し 言葉を磨け
------	--	------	----------------

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
自己実現の支援・個性伸長の支援	生徒のキャリアデザイン能力の育成と自己実現の積極的な支援	1日平均家庭学習時間：学年＋2時間	C	1年生平均129分（-51分） 2年生平均153分（-87分） 3年生平均264分（-36分）	家庭学習時間調査を家庭学習強化週間と位置づけ、その意義を理解させるとともに、南高手帳を一層活用させることで家庭学習の充実を図る。
		現役生の国公立大学合格者数：250人以上	A	3月31日時点で、254名が合格している。内訳は国立大学212名、公立大学42名である。（昨年度は計241名）	授業の充実に加えて、補習・模擬試験などを有効に活用し、進路目標の達成に向けた取組を続ける。教員間の情報共有に努める。
		現役生の難関国立大学合格者数：20人以上	A	3月31日時点で、合格者は24名である。東京1・京都2・大阪6・東北1・名古屋1・神戸3・九州10。（昨年度は計10名）	高い目標の設定に向けて、引き続き努める。ハイレベル模試やオープン模試の効果的な活用や、個別指導の充実、各大学の魅力の発信を行う。
		全国模試平均偏差値：60以上	B	進研模試では、1年生59.4(2回)、2年生60.4(2回)、3年生文系57.4、理系53.5(5回)である。	各教科で得意・不得意を持つ生徒に対してバランスのとれた学習ができるように配慮する。苦手科目の克服に根気強く取り組む。
	生徒の個性・能力の伸長の支援	部活動加入率：90%以上	B	全校生で89%の入部率である。1、2年生とも2学期以降の退部者が増える傾向にある。	学習活動とのバランスを取りながら、休養日の設定や活動場所の確保など、効率よく充実した活動ができる支援や環境づくりを行う。
		県高校総体出場種目数(人数)：全種目出場(230人以上)	A	個人種目での出場数が増え、238名の参加数であった。	部の統廃合も視野に入れながら、個々の活動の質を高めるような練習環境の整備を行う。
		体育部において：四国大会出場6部以上、全国大会出場4部以上	A	四国大会には10部、全国大会には6部と目標を達成した。特に弓道部は昨年度の女子団体優勝に続き、今年度は男子団体優勝、女子準優勝と素晴らしい成果を残した。	校外施設の利用等、練習環境を整えて効率の良い活動ができる練習環境の整備を行う。
		県高校総文祭優秀賞：6部門以上	B	美術、囲碁、吹奏楽、弦楽、自然科学の5部門で優秀賞を受賞した。美術と自然科学部門は全国大会出場を決めた。	校内外で文化的活動の成果を披露する機会を増やし、活動意欲を高める環境づくりに努める。

豊かな教養の涵養・豊かな人間性の育成	豊かな教養と国際的視野を備えた生徒の育成	全国レベルの科学コンテスト 入賞数：3件以上	A	全国での入賞が14件、全国での入賞や愛媛県内での入賞を合わせると30件であった。	理数科は現在の状況を維持させ、普通科生徒のコンテスト参加数を増加させるとともに、2年次からも積極的にチャレンジさせる。
		理数科生徒のAO・推薦入試 合格者数：10人以上	A	令和2年3月12日現在で、国立大学AO2名、推薦8名、私立大学推薦2名が合格し、合計12名である。	キャリアデザインファイル、キャリアパスポートを有効に活用し、生徒本人の適正と志望を生かした進路目標を設定させる。
		創作活動や各種コンテスト等への チャレンジ：各生徒1件以上	A	教科学習の一環として各種コンテストへの参加に加えて、CRでの成果を地域創生など幅広い公募への意欲的な参加が見られた。	各種コンクールにチャレンジできる環境を整え、個々の可能性を広げる機会を促す。
	心身ともに健康で人間性豊かな生徒の育成	出席率：99%以上 不注意による遅刻者数： アンダー300	B	1/29現在、出席率1年生は98.8%、2年生98.5%、3年生98.1%であった。なお、校務系システムの導入により、不注意による遅刻を確認することができなくなった。	授業、ホームルーム活動、学校行事など、学校生活全般の充実を図ることで、主体的に登校する生徒を増やすよう努める。
		いじめ問題発生件数：0件	C	SNSや「いじり」に端を発したトラブルがあった。	SNSや「いじり」に対して、未然防止を徹底し、なぜ配慮が必要なのかという根本的課題について理解させ、実践できるよう啓発する。
		重大交通事故発生件数：0件	B	入院に至るような重大事故は発生していない。軽微な事故は、1月現在23件で昨年度とほぼ同数である。	事故防止の最善策は、時間と心にゆとりを持つことだと理解し、他者を思いやる「シェア・ザ・ロード」の精神を涵養する。
「オール南高」の意義を理解できた生徒の割合：70%以上	B	分校文化祭に、本校全日制生徒が約30名参加し交流した。芸術・文化発表会に全日制、定時制、分校生徒が全員参加し、オール松山南の一体感を醸成した。	全日制、定時制、分校の生徒がお互いのよさを共有できるような場について、お互いの意見を交換する。		